

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表 集計結果

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制設備	① 子どもの活動などのスペースが十分に確保されているか	4	1	パーティションを活用して活動や個別エリアを設定している。	◆現在放課後等デイで使用している部屋をセンターで使用予定。グループ分けした活動が可能となる。 ◆庭など、外でも十分に体を動かすことが出来るよう設定していく。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	2	3	他事業所から応援体制を取り、必要な人員配置を随時行っている。	◆兼務職員もおり、配置人数は満たしていても、現場には余裕がない。放課後等デイスタッフの応援体制をシフト化して、その時に必要な配置を確実にやっていく。 ◆職員(パート含む)の研修機会を確保しており、今後も継続して専門性を高めていく。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達な祖への配慮が適切になされているか	3	2	視覚的に分かり易く、システム化している環境である。	個別対応のため、さらに細分化した環境設定やコミュニケーション・ツールを行っていく。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか	2	3	毎日清掃しており、掃除機がけ、水モップがけを行っている。遅番を中心に記録業務と清掃とを声を掛け合っている。	◆状況により掃除が出来ないことがある。確実に実施できるよう役割分担を明確にし、掃除の時間帯を前倒しする等、日勤者の協力も得ながら行っていく。 ◆手指消毒や職員のエプロン着用等、感染症予防の対策を行う。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1	業務の引継ぎを毎朝行っており、前日の振り返りを行いながら改善に努めている。	毎月の個別支援会議(全員参加)において、PDCAサイクルで振り返り、個別支援計画の実現を目指していく。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者などに対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか	5	—	■毎年、保護者アンケートを実施しており、改善に努めている。 ■第三者評価を受けている。	—
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向けの評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページなどを公開しているか	4	1	毎年、自己評価と保護者アンケートを実施しており、改善に努めている。	評価結果を法人HPIにて公開予定。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	—	平成27、28年度に第三者評価を受けた他、毎年青森県による指導監査を実施し、改善に努めている。	—

適切な支援の提供

⑨	職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	—	職員(パート含む)の研修機会を確保している。	—
⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	5	—	保護者との面談を設け、子どもの状況に合わせた計画を作成している。	—
⑪	子どもの適応行動の状況を図る為に、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	独自アセスメントシートの活用や適応行動尺度(Vineland)を活用に向けた取組みを行っている。	適応行動尺度(Vineland)に関する研修への参加や実際に実施するなど、その活用に努めている。
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	—	アセスメントに加えて、ガイドラインを参照して支援計画を立てている。	—
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	—	—	—
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	スタッフが交代で立案している。	個別支援会議などで重点目標を共有し、それに沿ったプログラム立案を行う。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	—	スタッフが交代で立案し、活動が重複しないよう工夫している。	—
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	—	個別学習と小集団での設定活動を組み入れている。	—
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをしその日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	—	毎朝引継ぎを行い、内容や役割を確認している。	—
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	—	5	次の日の朝に引継ぎを行い、前日の状況を共有している。	—
⑲	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	—	毎日業務日誌に記録し、検討事案では次の対応策まで話し合うようにしている。	—

⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	—	半年ごとにモニタリングを行っており、保護者面談も確実にやっている。	—
㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	5	—	担当者を含め、複数で参加するように努めている。	—
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	—	保健師、医療機関と連携している。	—
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育などの関係機関と連携した支援を行っているか	—	5	—	現在、医療的ケア児の受入れはないが、今後の受入れに向けて研修に参加している。
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	5	—	現在、医療的ケア児の受入れはないが、今後の受入れに向けて研修に参加している。
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	—	必要に応じて、随時情報共有を行っている。	—
㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容などの情報共有と相互理解を図っているか	5	—	ことばの教室の先生を中心に、随時情報共有を行っている。	—
㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	—	必要に応じて、随時情報共有を行っている。	—
㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4	—	今後行えるように、巡回相談先の園に相談して行く。
㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議などへ積極的に参加しているか	3	2	—	平成30年11月、弘前市自立支援協議会子ども専門部会に出席し、来年度に向けた取組みについて協議した。今後も定期的に出席予定。
㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■毎日連絡帳にその日の様子を記載して伝えている。</li> <li>■送迎時にその日の様子を伝えている。</li> </ul>	—

保護者への説明責任等	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5	—	毎年ペアレント・プログラム(全6回)を実施している。	—
	③②	運営規定、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか	5	—	契約時やモニタリングの面談時に行っている。	契約時やモニタリングの面談時に、より丁寧に分かりやすい説明を心掛けて行う。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	—	モニタリングの面談時に行っている。	—
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩みなどに対する相談適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	—	随時相談支援を行っている。	—
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	親子通園やペアレント・プログラムなど、行事の中で保護者同士が関わられるよう工夫はしている。	保護者会は開いていないが、行事等に保護者も参加できるよう計画して行く(親子通園、夏祭り等)。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	—	管理者に報告・相談の上、迅速、適切に対応している。	—
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制などの情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	—	広報誌『はあと通信』発行に努める。
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	5	—	—	—
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思疎通や、情報伝達の為の配慮をしているか	5	—	—	◆送迎時にその日の様子を伝える。 ◆不明な点や質問などが無いか、最後に確認する。

非常時等の対応	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等の地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	散歩やゴミ拾い活動時に地域の方と触れ合う機会を設けている。	平成30年度から拓心館グループとして夏祭りを開催し、地域の方にご参加いただいた。今後、夏祭りを定例化する予定。
	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	—	毎月避難訓練を行っている。	様々な場面(不審者等)を想定した訓練を実施して行く。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	—	毎月避難訓練を行っている。	様々な場面(不審者等)を想定した訓練を実施して行く。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	—	契約時に必ず確認している。必要に応じて随時保護者に確認している。	—
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	—	契約時にアレルギーについて確認し、適切に対応している。	—
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	—	ヒヤリハット報告書を作成し、回覧して共有、改善している。	—
	④6	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	—	◆毎月1回虐待防止委員会を実施し、チェックリストをつけている。 ◆内部、外部研修を受けている。	—
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	—	5	—	身体拘束に関する事案はない。様々な場面を想定し、万が一に備えて保護者とのやり取り等を記録するよう心掛ける。